

2014年12月12日

2014年度上半期 自動車部品工業の経営動向

一般社団法人 日本自動車部品工業会

一般社団法人日本自動車部品工業会は、2014年11月1日現在での会員企業444社のうち、上場企業で自動車部品の売上高比率が50%以上、かつ前年同期比較が可能な自動車部品専門企業82社の2014年度上半期(4～9月)の経営動向を各社の連結決算短信(※連結決算を行っていない企業は単独決算)により集計・分析した。

<経済全体の状況>

2014年度上半期の世界経済は、米国では金融緩和の縮小による影響が懸念されるものの、景気回復基調が継続した。欧州でも全体としては持ち直している。一方で中国やその他新興国では景気の拡大テンポは緩やかになっている。

日本経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動により一部に弱さが残るものの、緩やかな回復基調が続いた。一方、金融市場では8月下旬以降、ドル円相場は円安が進み6年ぶりにドル高・円安水準を更新、株高基調が続いた。この結果輸出比率が高い企業を中心に企業収益を押し上げる状況となった。

<完成車メーカーの状況>

自動車工業会の発表による上半期の自動車国内生産は、478.2万台・前年同期比+0.8%となり、2年ぶりに前年同期を上回った。車種別では、乗用車+0.4%、トラック+3.5%、バス+3.2%となっている。

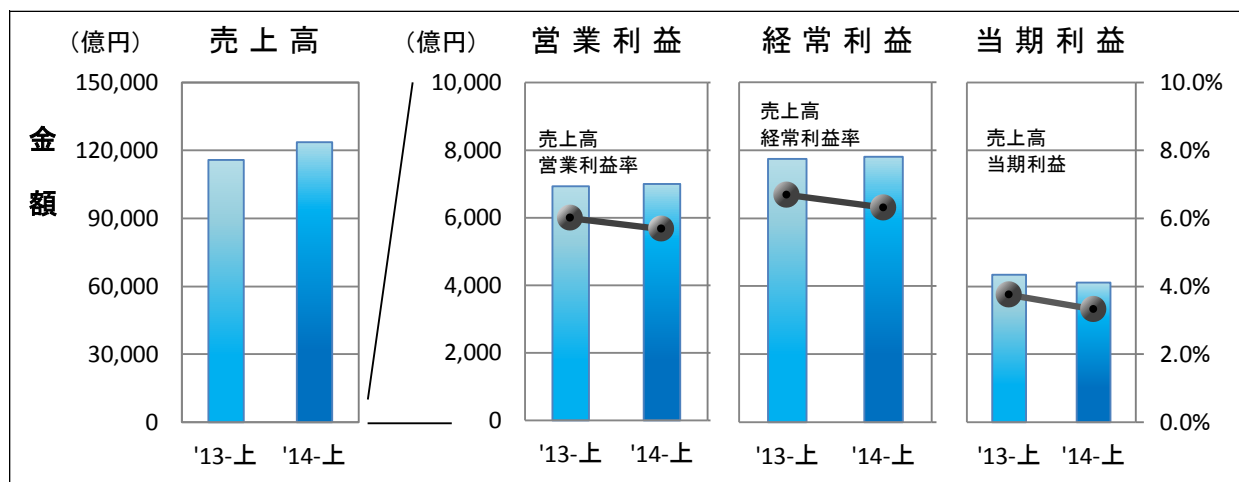
二輪車については26.4万台、前年同期比+6.6%となり、3年ぶりに前年同期を上回った。

<部品メーカーの状況>

自動車部品メーカー82社の2014年度上半期の業績は、以下のとおりとなった。

(単位：億円)

	2013年度(上半期)	2014年度(上半期)	前年同期差	前年同期比
売上高	115,700	123,647	7,947	+6.9%
営業利益	6,931	6,997	66	+1.0%
売上高営業利益率	6.0%	5.7%	-0.3pt	-
経常利益	7,742	7,808	66	+0.8%
売上高経常利益率	6.7%	6.3%	-0.4pt	-
当期利益	4,355	4,110	-245	-5.6%
売上高当期利益率	3.8%	3.3%	-0.5pt	-



売上高については、国内市場における消費税増税等の減少要因があったものの、好調な海外事業と為替の影響により、前年同期に比べても6.9%の増収となった。上半期の時点で売上高が12兆円を超えるのは、調査対象企業82社としての比較が可能な2008年度以降初めて。

このような状況のなか、営業利益は前年比で1.0%、経常利益は0.8%の増益となったものの、当期利益は5.6%の減益となった。

各社の増益・減益要因を分析すると、営業利益の増益要因としては「好調な海外需要」や「為替換算の影響」「生産合理化などの収益改善策の効果」が、減益要因としては「完成車メーカーの海外生産移管による減収の影響」「海外拠点での生産能力拡大投資による償却費の負担増」「新興国における政治的・社会的混乱の影響」「原材料価格の上昇」「労務費の増加」「エネルギーコストの増加」が挙げられる。

収益構造を見ると、売上原価率、販管費の上昇により利益率が減少した。また、営業外収益は減少、特別損失計上額が増加した。(P. 7)

以下は決算短信で地域別セグメント情報を記載している42社(売上高ベースで全体の69.8%)での数値となるため、あくまでも参考情報としての位置づけとなるが、国内は売上横ばい減益、北中南米は自動車販売の好調と実稼働率の向上により売上・利益が増加している。

欧州は自動車市場の回復により売上・利益が回復している。アジアについても増収増益となった。しかし、利益率の面では2ケタを切る状態が、2011年度第1四半期以降14四半期間続いている。これはアジア地域全般での労務費の上昇、競争の激化に加え、政治的・社会的混乱による生産・販売台数の低迷が影響していると考えられる。ただし中長期的な需要の拡大が見込まれるため、日系企業にとってアジア市場はなお重要な収益源であり続けている。(P. 7)

借入金依存率については、14.5%となり、前年同期の14.8%から比較して0.3ポイント下がった。ただし、過去10年間で最も低かった2005年度では12.5%であり、それとの比較では依然として2.0ポイント高い水準にある。(P. 8)

設備投資の動向を見ると、有形固定資産取得のための支出は前年同期に比べ2.4%増加した。減価償却費については、12.1%増加した。(P. 8)

2014年度通期の各社の業績見通しについては、年度全体では2013年度実績に対して売上高・営業利益は微増、経常利益・当期利益はやや減少するとの予測である。

これは、駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れリスク、労務費・エネルギーコストの上昇等の影響が織り込まれているためだと考えられる。(なお為替レートについては平均で1ドル104円、1ユーロ137円との想定となっており、最近の円安進行は織り込まれていない。)

いずれにしても、引き続き海外及び国内市場の景気動向を注視すると共に、各社の機動的な対応が望まれる。(P. 9)

自動車部品工業の経営動向【数値情報】

—主要上場企業82社 2014年度上半期 連結決算状況—

1. 対象企業

2014年4月から2015年3月までに決算期のある正会員上場企業で、売上高に占める自動車部品比率が50%以上の企業 82社を対象とした。

2. 経営分析の方法

各社の連結決算短信（連結決算を行っていない企業は単独決算短信）による。

3. 決算状況

(1) 全体集計結果〔再掲〕

（単位：億円）

	2013年度(上半期)	2014年度(上半期)	前年同期差	前年同期比
売上高	115,700	123,647	7,947	+6.9%
営業利益	6,931	6,997	66	+1.0%
売上高営業利益率	6.0%	5.7%	-0.3pt	—
経常利益	7,742	7,808	66	+0.8%
売上高経常利益率	6.7%	6.3%	-0.4pt	—
当期利益	4,355	4,110	-245	-5.6%
売上高当期利益率	3.8%	3.3%	-0.5pt	—

(補足) 2014年度上半期での増減

	増加		減少		合計	
	社数	()	社数	()	社数	()
売上高	75社	—	7社	—	82社	—
営業利益	49社	(1)	33社	(3)	82社	(4)
経常利益	44社	(1)	38社	(1)	82社	(2)
当期利益	44社	(1)	38社	(4)	82社	(5)

※赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」に含める

※()内は、赤字計上会社数

① 売上高と営業利益の動向

		営業利益					
		増益		減益		計	
売上高	増収	46社	(56.1%)	29社	(35.4%)	75社	(91.5%)
	減収	3社	(3.7%)	4社	(4.9%)	7社	(8.6%)
	計	49社	(59.8%)	33社	(40.3%)	82社	(100%)

※ () 内は構成比

② 売上高と経常利益の動向

		経常利益					
		増益		減益		計	
売上高	増収	42社	(51.2%)	33社	(40.2%)	75社	(91.4%)
	減収	2社	(2.4%)	5社	(6.1%)	7社	(8.5%)
	計	44社	(53.6%)	38社	(46.3%)	82社	(100%)

※ () 内は構成比

③ 売上高と当期利益の動向

		当期利益					
		増益		減益		計	
売上高	増収	40社	(48.8%)	35社	(42.7%)	75社	(91.5%)
	減収	4社	(4.9%)	3社	(3.7%)	7社	(8.6%)
	計	44社	(53.7%)	38社	(46.4%)	82社	(100%)

※ () 内は構成比

(2) 収益構造

科 目	2013 年度(上半期)		2014 年度(上半期)				
	金額(億円)	構成比	金額(億円)	前年同期差	前年同期比	構成比	構成変化
売 上 高	115,700	100.0 %	123,647	7,947	+ 6.9 %	100.0 %	±0.0 %
売 上 原 価	96,528	83.4 %	103,523	6,995	+ 7.2 %	83.7 %	+ 0.3 %
販売費及び一般管理費	12,241	10.6 %	13,127	886	+ 8.2 %	10.6 %	+ 0.0 %
営 業 利 益	6,931	6.0 %	6,997	66	+ 1.0 %	5.7 %	- 0.3 %
営業外収益	1,408	1.2 %	1,358	-50	- 3.5 %	1.1 %	- 0.1 %
営業外費用	597	0.5 %	547	-50	- 7.8 %	0.4 %	- 0.1 %
経 常 利 益	7,742	6.7 %	7,808	66	+ 0.8 %	6.3 %	- 0.4 %
特別利益	205	0.2 %	177	-28	- 13.8 %	0.1 %	- 0.1 %
特別損失	656	0.6 %	1,054	398	+ 63.9 %	0.9 %	+ 0.3 %
税金等調整前当期利益	7,291	6.3 %	6,931	-360	- 4.9 %	5.6 %	- 0.7 %
当 期 利 益	4,355	3.8 %	4,110	-245	- 5.6 %	3.3 %	- 0.5 %

(3)【参考情報】所在地別の売上高、利益の状況(注1)

(単位：億円)

		売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比	利益率	前年同期利益率
日 本		45,056	- 0.7 %	2,486	- 21.0 %	5.5 %	6.9 %
海 外	北中南米	21,412	+ 15.2 %	487	+ 35.0 %	2.3 %	1.9 %
	欧 州	7,536	+ 15.4 %	126	+ 43.3 %	1.7 %	1.3 %
	ア ジ ア	20,264	+ 9.1 %	1,553	+ 3.2 %	7.7 %	8.1 %
	分類不可等	2,115	+ 8.8 %	90	+ 30.9 %	4.3 %	3.6 %
(消去)		- 10,055	—	- 56	— %	— %	— %
合 計		86,328	+ 6.3 %	4,686	- 6.6 %	5.4 %	6.2 %

(注1) 各社の発表内容に差が大きく、地域別業績を発表しない企業（40 / 82社）が増えたため所在地別の売上・利益については、42社での傾向値として掲載。

(注2) 今回の集計全体の 69.8 %。（売上高ベース）

(4)借入金依存率の動向

	2013 年度(上半期)	2014 年度(上半期)	前年度比(*差)
短期借入金 (億円)	11,266	11,438	1.5 %
長期借入金 (億円)	16,405	16,511	0.6 %
社債 (億円)	3,765	3,579	-5.0 %
負債純資産合計 (億円)	211,714	217,744	2.8 %
借入金依存率 (%)	14.8 %	14.5 %	-0.3 Pt *

(5)【参考情報】設備投資の動向

(設備投資と関係の深い有形固定資産取得のための支出額、減価償却費を集計)

※決算短信でキャッシュフローを記載している 54 社での数値。

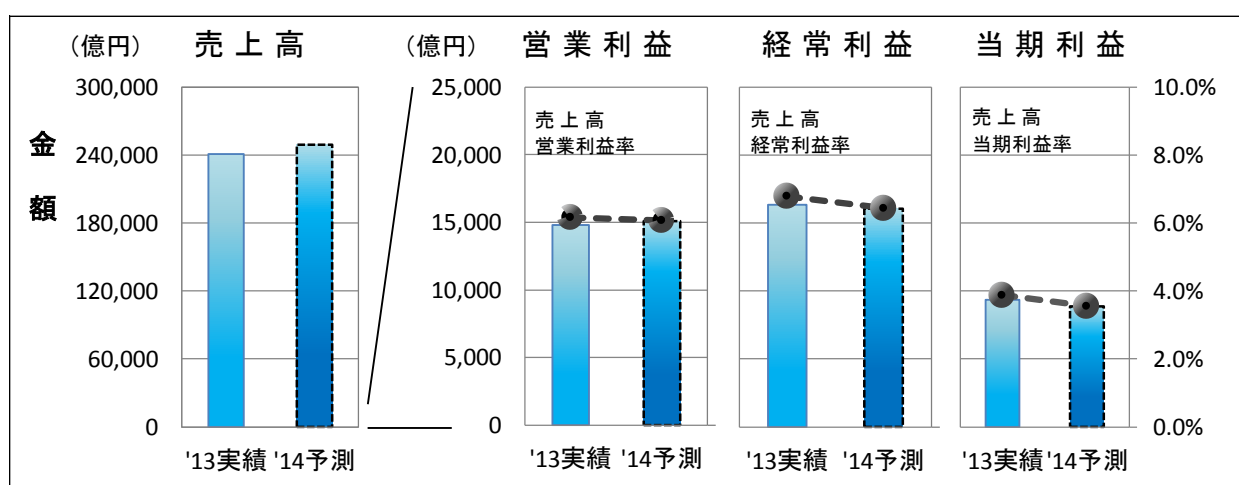
	2013 年度(上半期)	2014 年度(上半期)	前年同期比
有形固定資産取得のための支出額 (億円)	4,769	4,884	2.4 %
減価償却費 (億円)	2,991	3,352	12.1 %

4. 2014年度の業績見通し

(1) 全体の業績見通し(対前年度)

(単位：億円)

	2013年度実績	2014年度見通し	前年度差	前年度比	1Q時点見通し
売上高	240,951	249,200	8,249	+3.4%	245,464
営業利益	14,804	15,091	287	+1.9%	15,041
売上高営業利益率	6.1%	6.1%	0.0pt	—	6.1%
経常利益	16,335	16,045	-290	-1.8%	15,602
売上高経常利益率	6.8%	6.4%	-0.4pt	—	6.4%
当期利益	9,354	8,870	-484	-5.2%	8,725
売上高当期利益率	3.9%	3.6%	-0.3pt	—	3.6%



(2) 全体の業績動向見通し

	2013年度実績						2014年度見通し					
	増加		減少		合計		増加		減少		合計	
売上高	81社	—	1社	—	82社	—	58社	—	24社	—	82社	—
営業利益	74社	(1)	8社	(0)	82社	(1)	49社	(0)	33社	(0)	82社	(0)
経常利益	73社	(1)	9社	(0)	82社	(1)	37社	(0)	45社	(0)	82社	(0)
当期利益	63社	(0)	19社	(3)	82社	(3)	37社	(0)	45社	(1)	82社	(1)

※赤字幅が減少する場合は「増加」、赤字幅が拡大する場合は「減少」に含める。

※ () 内は赤字 [2014年度は赤字予測] 会社数

(3) 全体の業績動向見通し(売上高と営業利益の動向)

		営業利益					
		増益		減益		計	
売上高	増収	42社	(51.2%)	16社	(19.5%)	58社	(70.7%)
	減収	7社	(8.5%)	17社	(20.7%)	24社	(29.3%)
	計	49社	(59.8%)	33社	(40.2%)	82社	(100%)

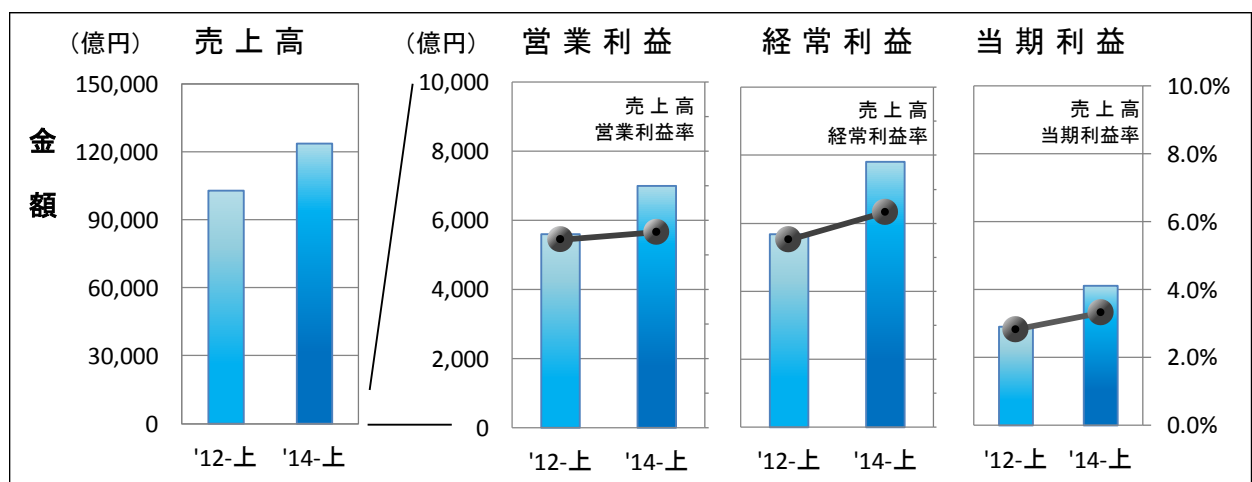
※ () 内は構成比

【参考情報】

2012年度上半期累計との比較

(単位：億円)

	2012年度(上半期)	2014年度(上半期)	差	比
売上高	102,864	123,647	20,783	+20.2%
営業利益	5,601	6,997	1,396	+24.9%
売上高営業利益率	5.4%	5.7%	0.3 p t	—
経常利益	5,679	7,808	2,129	+37.5%
売上高経常利益率	5.5%	6.3%	+0.8 p t	—
当期利益	2,905	4,110	1,205	+41.5%
売上高当期利益率	2.8%	3.3%	0.5 p t	—

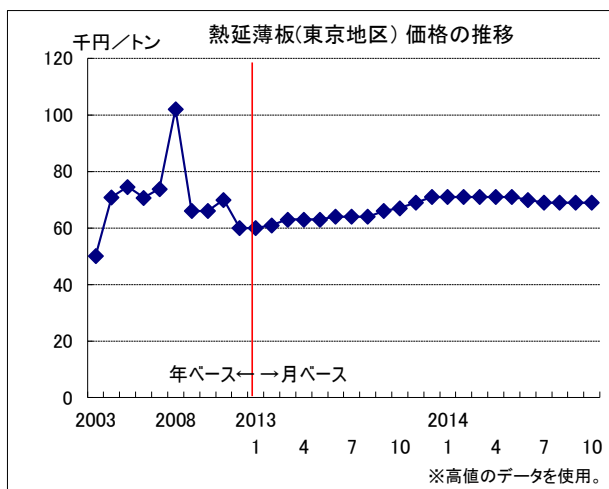


以上

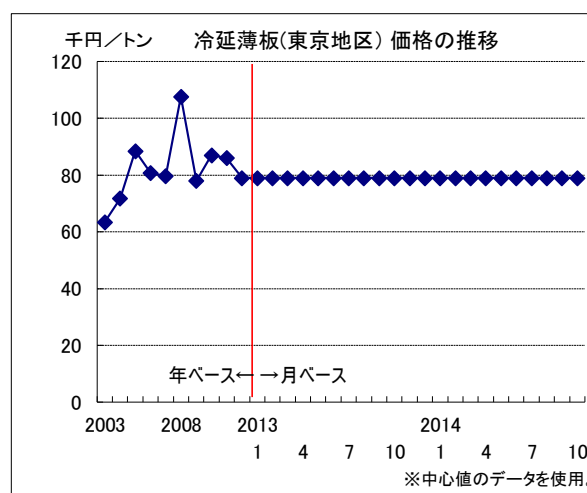
主要原材料価格の動向

一般社団法人 日本自動車部品工業会

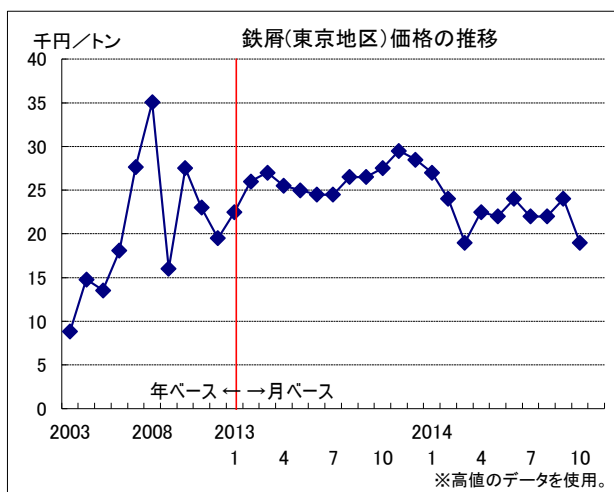
1. 熱延薄板



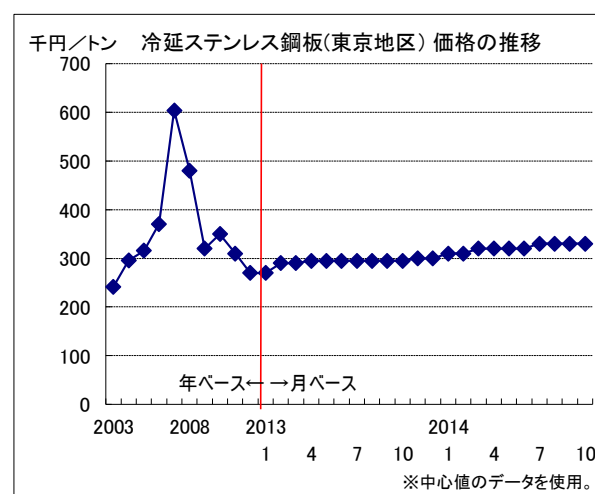
2. 冷延薄板



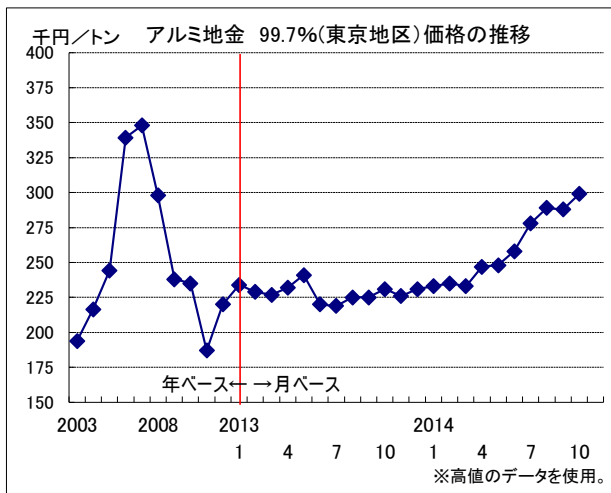
3. 鉄屑(特級H2)



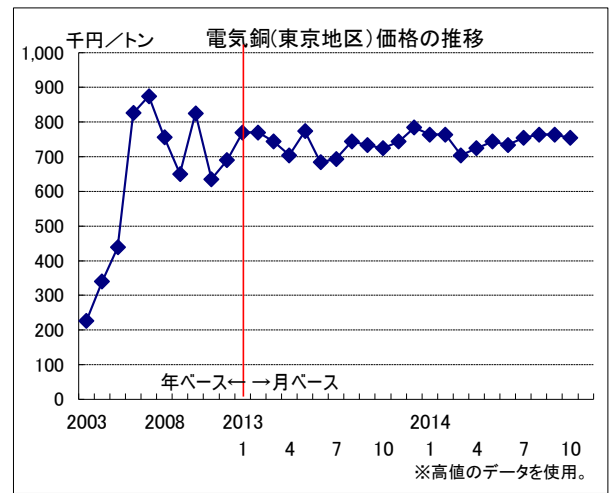
4. ステンレス



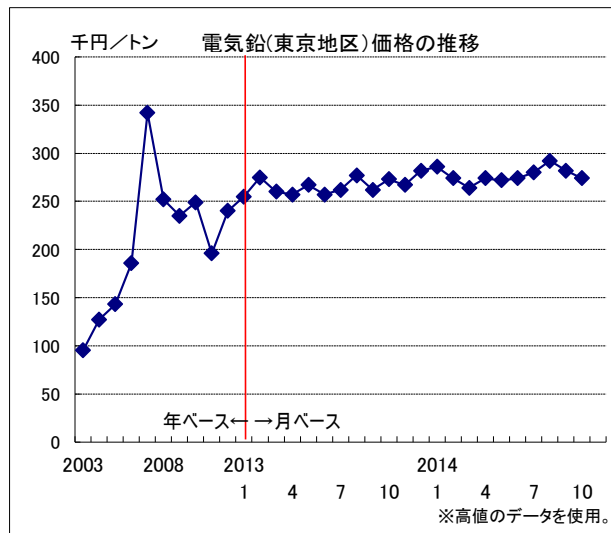
5. アルミニウム



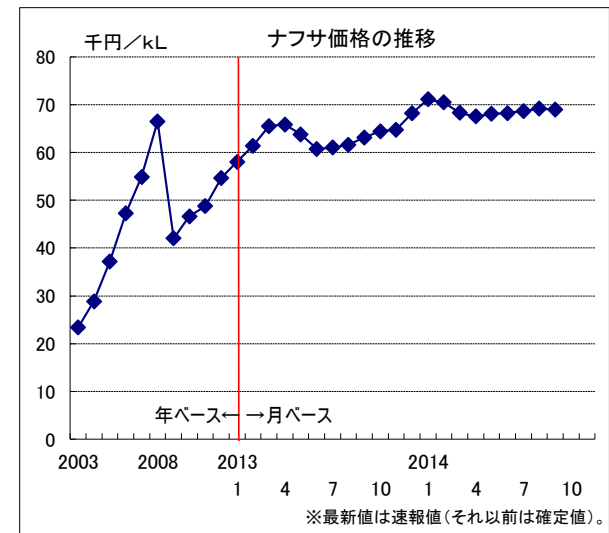
6. 銅

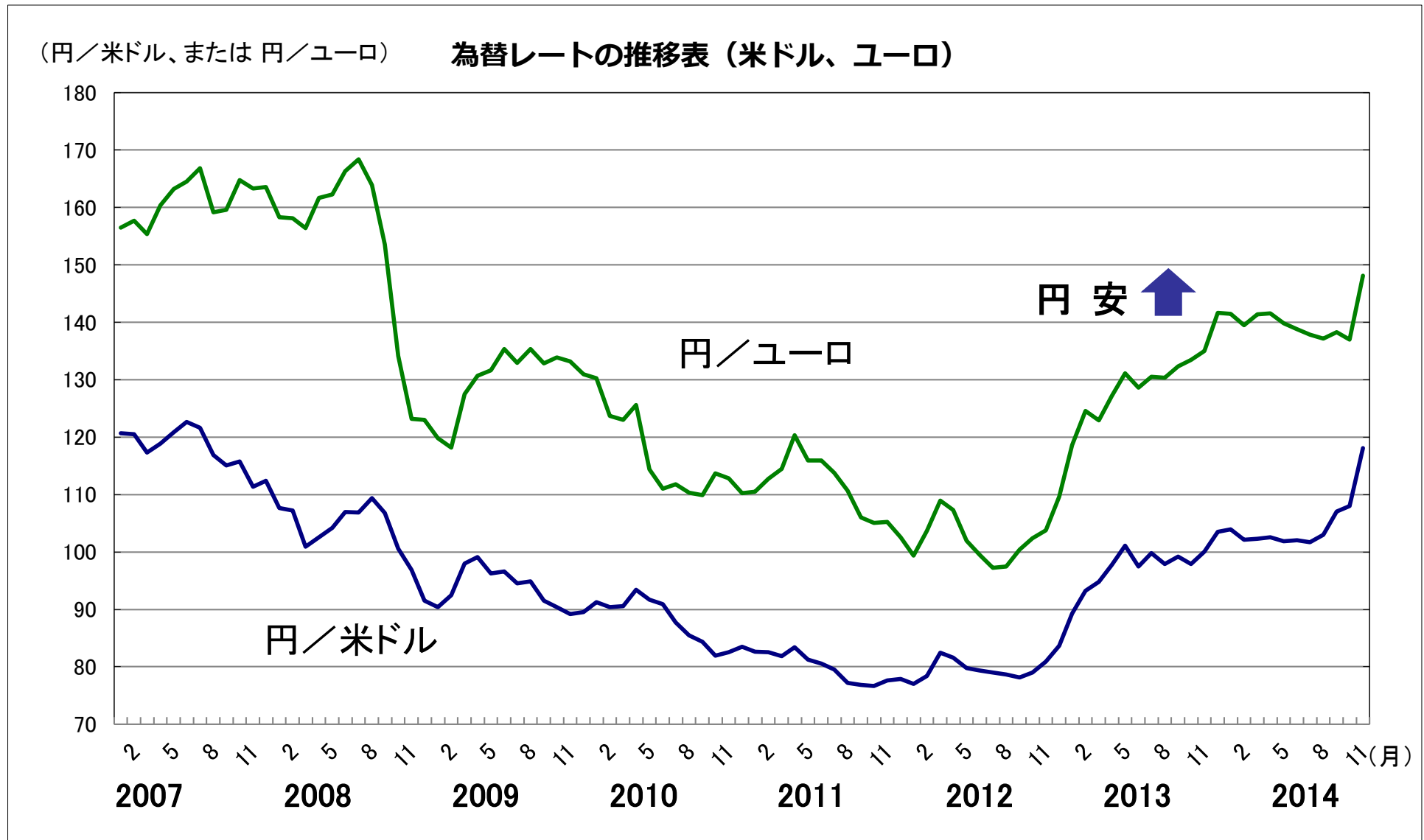


7. 鉛



8. ナフサ





(備考) 円・ドル、円・ユーロとも月中平均データ(みずほ銀行「外国為替公示相場ヒストリカルデータ」より)。2014年11月に関しては11/21の終値。

タイ、中国の為替動向

	円/タイバーツ	円/中国元
2007年	3.72	15.25
2008年	2.61	13.38
2009年	2.70	13.12
2010年	2.78	12.54
2011年	2.50	12.30
2012年	2.73	13.46
2013年	3.20	17.04
2014年1月	3.16	17.23
2014年2月	3.13	16.87
2014年3月	3.16	16.61
2014年4月	3.18	16.49
2014年5月	3.13	16.32
2014年6月	3.14	16.39
2014年7月	3.17	16.41
2014年8月	3.22	16.73
2014年9月	3.33	17.43
2014年10月	3.33	17.60
2014年11月	3.60	19.29

レートは公示相場(仲値)、月中平均値。

2014年11月のみ、11/21時点の終値。

みずほ銀行「外国為替公示相場ヒストリカルデータ」より